



もろきた通信

佐賀市立諸富北小学校
学校だより No.13
令和6年1月9日(火)
校長 石田 亮子

学校教育目標 <自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成>

2024年 新しい年がやってきました

新年、おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

お正月は、1年の始まりをお祝いするとともに、新たな抱負をもち、誓いを立てられたことと思います。

「七草なずな唐土の鳥が日本の国へ渡らぬ先に ストントントン」というわらべ歌があります。この歌を歌いながら、七草をまな板でたたき、七日に粥に入れる。これが「七草粥」です。1年の始まりに家族の無病息災を願う風習です。年頭の様々な風習は、伝統的な美風として、日本人の豊かさを感じ取らせ、子どもたちの春の訪れを喜ぶ心を育みます。

元日から北陸地方では大きな地震が発生し、多くの方が犠牲となりました。被災された方も多くいらっしゃいます。子どもたちに春の訪れを喜ぶ日が来ることを願うばかりです。

当たり前の日々感謝の気持ちを持ちながら、今年も諸富北小の子どもたちのために、職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。これまで同様、深いご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

3学期は、伝統のバトンをしっかり！

笑顔で元気な諸北っ子がそろった3学期の始業式。職員一同、心から嬉しく思いました。

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と昔から言われるように、3学期はあっという間に過ぎ去ってしまいます。そこで、次のことを心におきながら一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

○6年生は、これまでもリーダーとして、一つ一つのことに真摯に取り組み、下級生にはとてもやさしくしてくれました。6年生は、諸富北小の伝統を大切にして、卒業式までの間も期待以上に頑張ってくれましょう。5年生を中心に、その伝統のバトンをしっかり受け止めてほしいと思います。

○「いい顔であいさつをしよう」「いい声をひびかせよう」「いい心を広げよう」を忘れず、笑顔いっぱい楽しい学校を、みんなで作っていきましょう。

いじめは絶対に許しません！

毎月1日は「いじめ・いのちを考える日」です。いじめは、いじめを受けた子どもの心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることを、子どもたちが十分に理解できるように、学校、家庭、地域が一体となって指導に当たりたいと思います。始業式の後、子どもたちは6年生を中心に、いじめ0に向けて、次の7つのことを誓いました。4番目の誓いは、いじめの早期発見につながる大切な事項です。子どもたちの笑顔のために、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 1 友だちをたいせつにし、いやがることをしません。
- 2 いじめを見たら、「だめだよ!」と言います。
- 3 いじめを見たら、先生やまわりの人に知らせます。
- 4 こまったときには、すぐにかぞくや先生にそうだんします。
- 5 友だちをさそい、ひとりぼっちをつくりません。
- 6 友だちを元気にする、ほかほかことばをふやします。
- 7 だれとでもなかよくし、笑顔あふれるクラスにします。